



# 白神山地だより

## ビジターセンター



### 白神山地周辺地域の自然再生をめざして

林野庁東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

所長 石田 和彦

はじめに

当センターは、平成18年4月「津軽白神森林環境保全ふれあいセンター」として設置、平成25年4月に現在の「津軽白神森林生態系保全センター」に改組し活動しています。

森林生態系保全センターは全国7箇所に設置されています。その中の一つの当センターは白神山地世界自然遺産地域（以下「遺産地域」という）に登録されている白神山地森林生態系保護地域（青森県側）とその周辺地域をフィールドとし生態系の管理と適切な利用を推進する機関として設置されています。

ここでは、主な取り組みの一つである「自然再生活動」についてご紹介します。



津軽峠からの向白神岳

#### 1 背景・経緯

遺産地域は、日本海型の典型的なブナ林を主体とする原生的な天然林が大面積に分布し、雄大な山岳景観とともに、動植物相の多様性で世界的にみてもきわめて貴重な自然が残されています。その周辺地域の一部は国定公園や県立自然公園に指定されており、青森県側の北側では森林空間利用タイプに類型区分された国有林が分布しています。

国有林の森林空間利用タイプの地域には、戦後の拡大造林により、スギを主体とする人工林が分布しており、標高の高い区域の一部では、積雪等により広葉樹林化された人工林が見られます。このような人工林等を対象に「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」が立ち上がり、自然再生や植林活動など多様なボランティア活動が行われてきましたが、自然再生に向けた方向性やボランティア活動の指針を作成し多様な参加主体による自然再生活動を推進していくことが必要となりました。

このため、東北森林管理局では、平成20年度に学識者からなる「白神山地周辺地域自然再生調査検討委員会」を設置し、白神山地周辺地域における自然再生の方向性をとりまとめ、計画書やボランティア活動の指針（自然再生

マップ) を策定しました。現在、これらの指針を基に関係行政機関、自然保護団体、NPO、学識経験者と連携して、白神山地周辺地域の森林空間利用タイプに分布するスギ人工林について、広葉樹林化等を図るなどの自然再生活動を実施しています。スギ人工林を広葉樹林化等していくには、100年単位の息の長い取り組みが必要ですが、地域住民やボランティア、企業など多様な参加を得ながら、生物多様性の向上やゆたかな地域づくりに貢献していくことが重要と考えています。



市民(一般公募)による自然再生活動



森林環境教育(小学生植樹体験)

## 2 自然再生の基本的な方向性

「白神山地周辺地域の森林空間利用タイプにおけるスギ人工林を元の天然林に戻す」ために、4つの基本的な考え方に基づき実施しています。また、実のなる樹木をふやすなど、野生動物の生息環境にも配慮して行っています。

### ①息の長い森林づくり

白神山地周辺においては、元のブナ林等の天然林に回復するまでには800~1,500年を要するとされ、森林生態系の再生には長い年月が必要です。このため、100年単位の長期的な視点にたって、30年単位の中期的な目標を踏まえ、短期的な方針・取組みを立てモニタリングによる検証を行いつつ、計画を実行することとしています。

### ②自然環境の保全・再生

白神山地周辺地域が、自然再生の活動により、100年以上の長い期間を経て、遺産地域の林相に近い状態の森林を目指すとともに、その過程において餌となる実のなる木を増やしたり、鳥類の採餌場となる枯れ木を残すなど野生動物の生息環境の保全・再生にも配慮することとしています。

### ③人との関わりを重視した森林づくり

計画対象地域は森林空間利用タイプに機能類型されており、同タイプでは、貴重な自然環境の保全とともに、森林浴、溪流釣り、野外スポーツなどの活動を通じて森林とのふれあい体験を行ったり、森林づくりを行うボランティア団体等が活動する場を提供することを重視する森林となっています。このため、森林環境教育、ボランティア団体等の活動など、人との関わりを重視した計画づくりを行うこととしています。

### ④多様な参加主体による整備

国民、県民、地域住民等との連携による活動、企業の社会貢献活動による森林整備など多様な参加主体による森林整備を推進するとともに、青森県・鱈ヶ沢町等関係行政機関、自然保護団体、NPO、学識経験者で構成される「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」等で情報を共有することにより、関係者間の合意形成を図り、円滑な遂行・運営を目指すこととしています。



スギ人工林(自然再生拠点)



数百年後



長期的目標の広葉樹林

### 3 自然再生の目標

自然再生の目標は、短期的目標、中期的目標、長期的目標に分けて設定しました。

なお、地球温暖化の影響により、白神山地のブナ林の面積は大きく減少すると予測されており、ブナ一種が優占する広葉樹林ではなく、ブナ、ミズナラ、ウダイカンバ、ホオノキ、ウワミズザクラなど混生する広葉樹林や、スギと広葉樹が混交する林を長期的な目標としています。

	短期的目標 約5年後	中期的目標 約30年後	長期的な目標 約100年後
赤石川上流側	<p>針広混交林 (スギとサワグルミ・キハダ・ウダイカンバ・ホオノキなどが混生)</p> <p>スギ林 (林内に広葉樹が豊富に生育)</p>	<p>広葉樹林 (サワグルミ・キハダ・ウダイカンバ・ホオノキなどが優占)</p> <p>針広混交林 (スギとサワグルミ・キハダ・ウダイカンバ・ホオノキなどが混生)</p>	<p>広葉樹林 (ブナ・サワグルミ・ウダイカンバ・キハダ・ホオノキなどが優占)</p>
赤石川下流側	<p>スギ林 (低木層に広葉樹が生育)</p>	<p>スギ林 (林内に広葉樹が豊富に生育)</p>	<p>針広混交林 (スギとブナ・ミズナラ・ウワミズザクラ・ミズキなどが混生)</p>
暗門川	<p>スギ林 (低木層に広葉樹が生育)</p> <p>針広混交林 (スギとブナ・ミズナラ・ウワミズザクラ・ミズキなどが混生)</p>	<p>スギ林 (林内に広葉樹が豊富に生育)</p> <p>針広混交林 (スギとブナ・ミズナラ・ウワミズザクラ・ミズキなどが混生)</p>	<p>広葉樹林 (ブナ・ミズナラ・ウワミズザクラ・ミズキ・ホオノキなどが優占)</p>

#### ボランティア活動の指針 (自然再生マップ)



### 4 整備方針 (暗門川)

#### ①標高400m以上

- ・広葉樹の生育を阻害するスギを主体的に強度に抜き伐りして混交林を目指します。

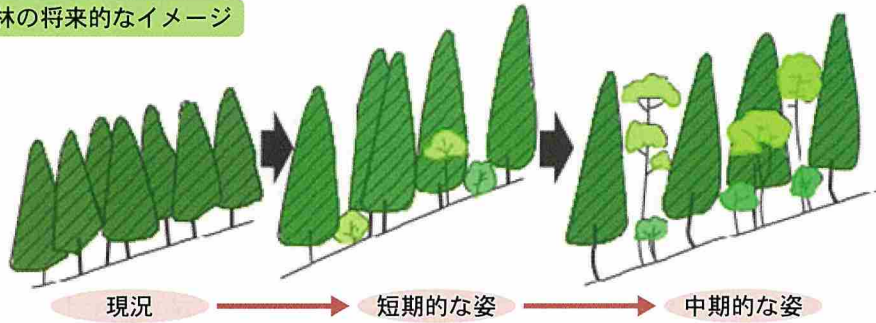
#### ②標高400m以下

- ・スギの生育状況は比較的優良であることから木材利用も考えて、スギ伐期の長期化を図りながら、針広混交林を目指します。
- ・スギの抜き切りによる林内への広葉樹の進入を促進します。
- ・スギ小径木、広葉樹の生育を阻害するスギを主体的に抜き切りします。
- ・孔状面へのブナ等の広葉樹を植栽します。

自然再生マップは箇所毎に活動メニューなどを示しています。

活動内容	抜き伐り／植栽・下刈り（予定）
対象者	一般向き・熟練者向き
林小班・面積	180 ろ1（道路下側）（15.6ha）
自然再生活動で目指すもの	立木本数が多いスギ人工林で、林内には広葉樹はあまり生育していません。抜き伐りにより、健全な森づくりを行うとともに、林内への広葉樹の侵入を促します。また、孔上面にはブナ等の広葉樹の植栽が可能です。
周辺状況	白神ライン沿いで、緩やかな傾斜地です。近くにアクアグリーンビレッジ ANMONがあります。

森林の将来的なイメージ



## おわりに

このように、白神山地周辺地域の自然再生は、人との関わりを重視し多様な参加主体により整備することとしており、「地域住民・県民参加の自然再生の場」、「企業や各種団の自主的な活動の場」、「森林環境教育・林業体験・モニタリング調査の場」です。

皆さんも白神山地の周辺地域で自然再生活動に参加してみませんか？  
～ゆっくりと時間をかけた元の天然林づくり～「自然再生活動」にご理解ご協力をお願いいたします。



◆お問い合わせ先◆

東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

青森県西津軽郡鰺ヶ沢町米町25-2

TEL 0173-72-2931 FAX 0173-72-2932

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>



## 白神山地ビジターセンター

〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1

Tel.0172-85-2810 Fax.0172-85-2833 ホームページ <http://www.shirakami-visitor.jp/>

■上映開始時間（映写時間は約33分です）

4月1日～10月31日

第1回 9:00 第2回 10:00 第3回 11:00 第4回 12:00  
第5回 13:00 第6回 14:00 第7回 15:00 第8回 16:00

11月1日～3月31日

第1回 9:30 第2回 10:30 第3回 11:30 第4回 12:30  
第5回 13:30 第6回 14:30 第7回 15:30

観客席195席 ※上映中の入・退場は、お断りしております。

開館時間

8:30～17:00（4月1日～10月31日）  
9:00～16:30（11月1日～3月31日）

休館日

4月～12月 第2月曜日  
1月～3月 毎週月曜日と木曜日  
※祝日の場合は翌日  
年末年始 12月29日～1月3日

入館料

無料

映像観覧料

大人/ 200円  
小人/ 100円（中学生以下）

20名様以上で団体割引の適用により上記料金の2割引きとなります。  
※観客席は195席で先着順となります。